



安心で安全な施設整備で児童の学習と教育環境の改善を進める

—— 校舎棟改築に合わせ児童会館と多目的

ホールを併設



- ペースを持たせ、学年ごとに学級の枠を超えた多目的な学習を可能にしている。
- ②校舎中央部に光庭を配し、教室等への採光、通風に配慮した。
- ③職員室は児童のグラウンドでの活動状況を確認しやすい位置に配置した。
- ④児童の登下校の主動線であるホール階段は幅広で中庭に面したゆとりある空間としている。

工事概要	
建設地	札幌市北区新琴似5条11丁目513-2
敷地面積	16,779.83㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造3階建
建築面積	4,512.09㎡
延床面積	9,081.54㎡
工期	令和4年10月3日～令和6年2月28日（予定）
施設概要	
主要室	普通教室：16教室（ワークスペース付）、特別支援学習室4教室（プレイルーム含む）／特別教室：理科室、音楽室、図工室、家庭科室、図書室、生活科室、特別活動室、教育相談室／管理諸室：校長室、職員室、印刷室、保健室、用務員室、放送室、会議室、教材室他／その他：多目的室（視聴覚対応）（一般）（少人数学習対応）、PTA室、給食室、配膳車置場、エレベーター、トイレ（男子、女子、多目的、職員）
児童会館	風除室、玄関、事務室、遊戯室（プレイルーム）、集会室、クラブ室、図書コーナー、トイレ（男子・女子・多目的）、多目的ホール

はじめに

札幌市が建設を進めている光陽小学校は、札幌市中心部から北北西に約7.0kmに位置している。校区内は戸建て住宅や低層集合住宅が立ち並び住宅街で、南西側には安春川を挟んで光陽中学校がある。

施設建設の経緯

光陽小学校は、新琴似小学校からの分離新設により昭和43年12月に開校された。校舎棟は鉄筋コンクリート造、地上3階建で建設された。以降、昭和45年と昭和60年の2

回にわたり増築された。また、屋内運動場棟は昭和43年に建設し、平成13年に改築を行っている。

今回の校舎棟の改築は築40年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、教育環境の改善を図り、今般の教育・学習に対応した施設整備のため、令和4年10月より建設工事を進めている

また、校舎棟建設に合わせ児童会館と多目的ホールを併設する。

建物配置計画

①校舎は、既存校舎を避けて現在の

グラウンド位置に建設し、北西側の道路から一定の距離を取り、周辺住宅への日影に配慮している。

②歩車分離のために児童用と給食などのサービス車両の出入口を分ける。

③児童会館の専用玄関と校舎の昇降口を近接させるほか、底を設けて利用者が雨や雪に当たらず移動できるよう設計した。

施設配置計画

①児童が長く過ごす普通教室及び特別支援学習室は、日照条件の良い南東向きとし、それぞれにワークス

光陽小学校改築ほか工事

●建築主体工事

新太平洋建設株式会社

札幌市中央区南1条東1丁目2-1
太平洋興発ビル5F ☎011-200-6000

●暖房設備工事

株式会社 ダンテック

札幌市東区北19条東7丁目3番25号
☎011-742-5582

●衛生設備工事

株式会社 ダンテック

札幌市東区北19条東7丁目3番25号
☎011-742-5582

●電気設備工事

北海電気工事株式会社

札幌市白石区菊水2条1丁目8番21号
☎011-811-9411